

経営力を高める4つのアプローチ

1. 研修のねらい

経営環境の変化が厳しい中、事業を継続・発展させるためには、如何にして時代の変化を的確に捉え、論理的な判断に基づき戦略を立案・実行するかが重要です。本ゼミナールでは、「経営戦略」、「マーケティング」、「会計」、「組織・人事管理」という4つの視点から、企業の経営力を高めるための考え方を体系的に学び、演習を通じて自社の経営力をブラッシュアップしていきます。

2. 受講対象者

- ① 中小企業の経営者、経営幹部、管理者等
- ② 上記(中小企業)以外の役職員等

3. 受講区分

- ① 中小企業者 : 中小企業大学校瀬戸校
- ② 中小企業者以外 : 名古屋大学大学院経済学研究科

4. 開催期間

平成30年7月10日(火)～8月3日(金)[全8回、火曜・金曜: 18時～21時]

5. 受講料・定員

- ① 中小企業者 : 35,000円(税込み)・10名
- ② 中小企業者以外 : 60,000円(税込み)・10名

6. 場所

名古屋大学 東山キャンパス 経済学部棟 1階 特別演習室2

<カリキュラム>

回	月日	時間	研修テーマ	研修手法	時間数	講師	内容
第一講：経営戦略							
1回目	7/10 (火)	17:50～18:00 開講式、オリエンテーション					
		18:00～19:30	経営環境の読み方	講義及び演習	1.5	犬塚 篤 名古屋大学大学院 経済学研究科 教授	経営戦略を考える上で基本となる経営環境の読み方、および業績の構造分析の基本について学習します。
		19:30～21:00	経営の基本戦略	講義及び演習	1.5		経営の基本戦略である、コストリーダーシップ、差別化戦略、集中戦略の考え方と、利点や欠点について学びます。
(3.0)							
2回目	7/13 (金)	18:00～21:00	戦略の実施と効果 (ケース学習)	講義及び演習	3.0	同上	事前課題に基づき、特定の企業における競争環境を分析した上で、各企業の戦略がもつ効果を、同じフレームワークの上で議論します。
(3.0)							
第二講：マーケティング							
3回目	7/17 (火)	18:00～21:00	マーケティング戦略の考え方	講義及び演習	3.0	川北 眞紀子 南山大学経営学部 教授	企業において必要となるマーケティング戦略の基本を学びます。具体的な事例をもとに、STPと4P、マーケティング・コンセプトの変遷、流通政策などを学びます。
(3.0)							
4回目	7/20 (金)	18:00～21:00	事例に学ぶネット時代のマーケティング戦略	講義及び演習	3.0	同上	現代のマーケティングにとって欠かせないネット対応についての事例をもとに、ネット化されることによる、流通での課題、製品特徴との関連、情報伝達について、自ら考えディスカッションしていきます。
(3.0)							
第三講：会計							
5回目	7/24 (火)	18:00～19:30	財務諸表の基本構造と相互関連性	講義及び演習	1.5	坂口 順也 名古屋大学大学院 経済学研究科 教授	代表的な財務諸表である、貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書の基本的な構造と相互関連性、特定の意思決定が与える影響などについて学習します。
		19:30～21:00	経営管理への会計の利用	講義及び演習	1.5		会計の経営管理への利用を取り扱う管理会計の基礎を学習します。また、管理会計の具体例として予算管理に注目し、分析方法や問題点について議論します。
(3.0)							
6回目	7/27 (金)	18:00～21:00	戦略実行への会計の利用	講義及び演習	3.0	同上	会計と戦略との関連性の基礎について学習します。また、その具体例として、近年注目されるBSCの概要について説明します。さらに、BSCを設計し実行する場合に検討すべき項目を議論し、議論の全体像を受講者全体で整理します。
(3.0)							
第四講：組織・人事管理							
7回目	7/31 (火)	18:00～19:30	組織内コミュニケーションと組織の活性化・統合	講義及び演習	1.5	江夏 幾多郎 名古屋大学大学院 経済学研究科 准教授	ここでは、多様性の経営、企業理念の活用、組織開発といった観点を題材に、複雑性が増す組織を統合し、イノベーションに開かれた場にするために必要な観点について考えます。
		19:30～21:00	リーダーシップ学習	講義及び演習	1.5		「リーダーシップは経験から学ぶことができる、全ての組織人に求められる行動特性である」という観点に立ち、受講者同士が経験を共有しながら理解を深めます。
(3.0)							
8回目	8/3 (金)	18:00～21:00	評価・報酬を通じた組織づくり	講義及び演習	3.0	同上	評価や報酬は、企業が目指しているものを従業員に伝え、個人を伸ばすと同時に、組織をまとめるために有用なツールです。現実の評価や報酬は、そのポテンシャルを活かしきれていないことが多いですが、そうした「難問」を解きほぐす糸口を探ります。
		(3.0)					
		21:00～21:10 閉講式					
合計時間(H)					24.0		

【講師紹介】

氏名	略歴
犬塚 篤 名古屋大学大学院 経済学研究科 教授	ソニー(株)での技術者勤務を経て、2004年、北陸先端科学技術大学院大学より博士号を取得。同大学助手、助教を経て2008年より東京大学特任准教授、2010年より岡山大学大学院准教授。名古屋大学大学院准教授を経て、2016年より現職。
川北 眞紀子 南山大学 経営学部 教授	(株)リクルート勤務の後、独立し広告事務所を主宰。社会人大学院へ進学。慶応義塾大学大学院経営管理研究科博士課程、博士(経営学)。2014年より現職。専門は、消費者の情報源選択、企業の広報、芸術文化組織のマネジメント。
坂口 順也 名古屋大学大学院 経済学研究科 教授	2003年、神戸大学大学院経営学研究科 会計システム 博士後期課程修了、博士(経営学)。関東学園大学経済学部講師、助教授、関西大学大学院会計研究科助教授、准教授、教授を経て、2017年4月より現職。専門は会計学。
江夏 幾多郎 名古屋大学大学院 経済学研究科 准教授	2003年、一橋大学商学部卒業。2009年に一橋大学より博士学位(商学)を取得。名古屋大学大学院経済学研究科講師を経て、2011年より現職。専門は人事管理論。